

## 6階病棟

### 全ては患者さんのために



対象病期は診断期から終末期までに亘り、がん告知後のケアや治療選択時の意思決定支援、抗がん剤治療や放射線療法の有害事象への対応、症状マネジメントなど患者（家族も含め）心身共に安楽な日々が送れるような関わりが求められる。看護師は受け持ち制のもと主体的に緩和カンファレンスを行い、多職種と協働して緩和ケアや看護の方向性の検討を行っている。

また、患者さん・御家族の意向を把握しながら療養場所を決めていくことができるように退院支援に取り組み、安心して在宅療養へつなげることができるよう取り組んでいる。肺がん病棟としてこれからも、患者さん・御家族の心のケアを含めた継続した看護が提供できるよう、実践力・アセスメント能力の向上に取り組み、専門性を高めていきます。



スタッフ間の情報共有